「何が得意？何が好き？何がやりたい？自問自答してみよう！」

Fuchu Walker －操風 号外
センセイの 種Seed 第10回

進路指導主事（社会科）

難波 誠（なんば まこと）先生

泣きながら・・・

書道の先生をしていた母。小さいころから高校まで書道の練習はスパルタ！夏休み、冬休みは展覧会のために毎日朝から晩まで毎日練習。泣きながら、半紙を買いに行ったことも。

展覧会に出展し、自分の背丈よりも大きな作品で、特別賞を受賞した。練習は嫌だったが、厳しい母のもとでは言えなかった・・・。

歴史との出会いのきっかけは祖父。子どもの頃から祖父の集めた骨董品に触れていた影響もあり、発掘の仕事に興味をもつ。学生時代には発掘調査のアルバイトも経験。一方、高校時代、良き師との出会いから、日本史の教師にも興味をもつ。悩んだ結果、多感な時期の生徒の悩みを解決ができればとの思いから教師の道を選ぶ。

教師としての思い

一年生はまだ小学生の延長のような面もみられるが、二、三年生はもう一人の大人として接している。中学生は成長が早いので、教師としてのやりがいがあり、生徒と共に自分も成長できる。

特に、運動会などの行事では、生徒との一体感を味わえる。これが教師の醍醐味であり元気の源！

自分を知ろう！

進路指導では、それぞれの高校の特色を生徒に発信し、高校と中学とを結ぶパイプの役割を担う。

各高校の説明会に出席し、私立は、学校や各コースの特色を中心に、公立は、今年度変更になる出願についての情報を収集し、正確に伝える。年々変化する各高校のコースや、入試のシステムなど、常に最新の情報を把握していなければならない。

高校選びは長い人生のターニングポイントの一つ。十五歳では難しいことだが、自分が何になりたいのかをしっかり考えてほしい。しかし、「この高校に行ったから、この職業」と決めなくても、大学進学や就職に際して、考え直すチャンスはいくらでもあることも知っていてほしい。

高校は、自分を知っている生徒、将来像をもち先が見通せる生徒を求めている。現在附属中では従来の「職場体験」に変わりキャリア教育プログラム」が実施されているが、そのような機会も含め、**何が得意なのか　何が好きなのか　何がやりたいのか**　自問自答してみるのも良いのではないだろうか。

社会科

授業では、時代の特徴をとらえて現代にどう生かせるのかを学習している。単に暗記すればよいだけの教科ではない。もし、その時代にタイムスリップしたらどう生きるのか・・・？歴史を通して生きる力を養ってほしいと思っている。

そして、今の世の中で間違っていること、不合理なことを見抜く力をつけ、これからの未来を背負っていって欲しい。

社会は暗記だけの教科ではありません！苦手な人は、旅行することで衣食住など、その地方の特色を知り、好きになれるかもしれません。

プロフィール

- ○岡山市生まれ
- ○元教員の奥様と5才の男の子の三人家族
- ○お父さんが警察官だったため、幾度か転校
  高校も途中から遠距離通学に
- ○中学時代は卓球部
- ○高校・大学時代は百間川で
  発掘調査のアルバイト
- ○趣味は城めぐり
- ○教員21年目
- ○岡山大学附属中学校4年目

警察官にならない！と書いた作文が表彰され・・・父、ビックリ

～お勧めのお城～
松本城・犬山城
高知城・松江城
などなど

附中のキャリア教育プログラムの4つの柱

岡山大学訪問

医・歯・薬・理・工・教育学部，附属施設の見学と体験学習
一人ひとり興味がある学部を訪問しています！

グローバル学習

岡大留学生との交流　キャラ弁で交流しました。

職業人に学ぶ会

附中同窓生等の講演

ボランティア学習

ゆうあいセンター出前授業と
夏季ボランティア参加

キャリア教育とは　生涯の中で、社会の一員として、職業人として役割を果たす中で、自分と役割の関係を見出したり、その役割が価値あると感じたりする機会をもつ。この経験の積み重ねが「**キャリア**」となり、このキャリアを発達させる学習が**キャリア教育**である。

2016年（平成28年）11月　吉 日　　編集・発行　岡山大学教育学部附属中学校PTA　広報委員会　PTA会長　鈴森　賢史